Mimaki

ID カットガイド (FineCut 使用版)

この度は、カッティングプロッタをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この「ID カットガイド」 では、カッティングプロッタと FineCut (カッティングソフトウェア)を使った ID カット方法と、事前に確認 / 設定していただきたい項目を説明します。

ID カット可能なカッティングプロッタは以下のとおりです。 • CG-FXII Plus シリーズ, CF22-1225, CFL-605RT, CG-AR シリーズ, CFX シリーズ

ご注意

- 本書の一部、または全部を無断で記載したり、複写することは固くお断りいたします。
- 本書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業 所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書に記載している株式会社ミマキエンジニアリング製ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり(バック アップを目的とする場合を除く)、実行する以外の目的でメモリにロードしたりすることを固く禁じます。
- ソフトウェアの改良変更等により、仕様面において本書の記載事項が一部異なる場合があります。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害(逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない)に関して一切の責任を負わないものとします。また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア(ワーク、シート)等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
- •本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本文中の表記について

- メニューや画面に表示される項目やボタンは、[ファイル]のように[]で囲っています。
- RasterLink6Plus と RasterLink7 をまとめて RasterLink と称しています。

本書で使用している画面イメージについて

• RasterLink6Plus の画面イメージを例に説明しています。

マークについて

甞

重要! • 注意していただきたいことや、必ず実行していただきたい内容を説明します。

知っていると便利なことを説明します。

RasterLinkは株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。 Adobe、Illustratorは、Adobe Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。 Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。 Apple、Macintoshは、Apple Inc.の米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。 その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登 録商標です。

ID カットとは	3
----------	---

ID カットの手順	5
進備する	
1. CuttingLink - Server PC をセットアップする	
2. RasterLink PC をセットアップする	9
3. カッティングプロッタで ID カットの準備をする	11
印刷、ID カットする	13
4. データを編集、送信する	14
5. プリンタにメディア (ワーク、シート)をセットする	
6. 印刷データを出力する	19
7. カッティングプロッタで ID カットする	

こんなときは	22
トラブルシューテイング	22
CuttingLink - Server を変更した	25
CuttingLink - Server のデータをバックアップしたい	25
CuttingLink - Server を移行したい	25
1. 移行前の CuttingLink - Server PC で初期設定をリセットするトする	25
2. 移行先の CuttingLink - Server PC で Server の設定を行う	25
3. RasterLink で CuttingLink - Server PC を再登録する	25
CuttingLink - Client はどんな場合に使うの?	26
CuttingLink - Client の設定方法	27
裏面カットしたい (CF22-1225 のみ)	28
RasterLink でデータをコピーして ID カットしたい	29
RasterLink で面付けして ID カットしたい	31
複数の種類のデータを ID カットしたい (CF22-1225)	33
複数の種類のデータを ID カットしたい (CG-FXII Plus、CG-AR シリーズ)	35
複数の種類のデータを ID カットしたい (CFX シリーズ)	37
クリア / プライマーデータと合成する場合に印刷位置がずれる	39
PDF 形式で ID カット出力すると、プリントデータが RasterLink に正しく送信されない	42

ID カットとは

プリンタで ID 付きのデータを印刷し、カッティングプロッタで ID を検出すると自動でカットできる機能です。データを印刷後、改めてカットデータを出力する必要がありません。(通常は印刷データとカットデータを別々に出力します。)

本書では、FineCutを使用した場合のIDカットの基本的な流れを説明します。一例として "CuttingLink - Server PC" に CuttingLink、Adobe Illustrator、FineCut をインストールし、"RasterLink - PC" に RasterLink をイン ストールした場合について説明します。(ID カットは FineCut を使用せず、RasterLink から行うこともできます。)

詳細な設定、手順については、カッティングプロッタの取扱説明書、使用するプリンタの取扱説明書、FineCut(/ Coat) リファレンスガイド、RasterLink インストールガイドを参照してください。

• ID カットフロー



• ID 付きデータを印刷可能なプリンタ

CJV300 Plus シリーズ, CJV330 シリーズ, JFX200-2513, JFX200-2513 EX, JFX200-2531, JFX500-2131, JFX600-2513, JV100-160, JV150 シリーズ, JV300 シリーズ, JV300 Plus シ リーズ, JV330 シリーズ, JV33, JV33-260, JV34-260, JV400-LX シリーズ, JV400-SUV シリー ズ, JV5 シリーズ, SIJ-320UV, SWJ-320S, UCJV150 シリーズ, UCJV300 シリーズ, UJF-3042FX, UJF-3042HG, UJF-3042MkII, UJF-3042MkII e, UJF-6042, UJF-6042MkII, UJF-6042MkII e, UJF-7151plus, UJF-7151plusII, UJV100-160, UJV500-160, UJV55-320,UCJV330 シリーズ, CJV200 シリーズ

• システム構成



ID カットの手順



準備する

印刷や ID カットをする前に、プリンタやカッティングプロッタ、ソフトウェアの準備が必要になります。 既に準備が済んでいる場合は次の手順に進んでください。

•ソフトウェア/ドライバー一覧

ID カットに必要なソフトウェアは以下のとおりです。ソフトウェアは全てミマキエンジニアリング製です。

ソフトウェア ^{*1} / ドライバー	説明
FineCut8 Ver.8.7 以上 (CF22-1225) Ver.8.7.5 以上 (CFL-605RT) FineCut9 Ver.9.1 以上 (CG-FXII Plus シリーズ) FineCut/Coat9 Ver.9.2.3 以上 (CG-AR シリーズ) Ver.9.3.0 以上 (CFX シリーズ)	 カッティングソフトウェアです。 FineCut8: CD (カッティングプロッタ同梱品) FineCut/Coat9: SW パッケージ用梱包箱 (カッティングプロッター同 梱品) FineCut/Coat9 のインストーラーは弊社ホームページ (<u>https://japan.mimaki.com/download/software.html</u>) よりダウンロード してください。(FineCut8 の製品 CD-ROM をお持ちの場合、FineCut/Coat9 へ無償アップグレードできます) インストール方法については FineCut(/Coat) リファレンスガイド 第 1章 「FineCut(/Coat) のインストール」を参照してください。
RasterLink RasterLink6Plus Ver.1.2 以上 RasterLink7 Ver.1.1 以上	 画像データを受け、多彩な編集を行い、プリンターに作画データを送信するソフトウェアです。 RaterLink6Plus: CD (プリンター同梱品) RasterLlnk7: SW パッケージ用梱包箱 (プリンター同梱品) RasterLlnk7 のインストーラーは弊社ホームページ (https:// japan.mimaki.com/download/software.html) よりダウンロード してください。 インストール方法については RasterLink インストールガイドを参照 してください。

ソフトウェア ^{*1} ノ ドライバー	説明
	ID カットを管理するソフトウェアです。
CuttingLink Ver.1.1.8 以上	弊社ホームページの RasterLink ダウンロードサイト (https:// japan.mimaki.com/product/software/rip/raster-link6plus/download.html または https://japan.mimaki.com/product/software/rip/raster-link7/ download.html) よりインストーラーをダウンロードしてインストー ルしてください。 インストール方法については RasterLink インストールガイド 「CuttingLink のインストール」を参照してください。
Mimaki ドライバー	 ミマキエンジニアリング製のインクジェットプリンタ/カッティング プロッタを使用するためのデバイスドライバーです。 RaterLink6Plus をお使いの場合: CD (プリンター同梱品) RasterLink7 をお使いの場合: 使用する機種ごとに Mimaki ドライバー をインストールしてください。各機種用の Mimaki ドライバーは弊社 公式ウェブサイト(<u>https://japan.mimaki.com/</u>)からダウンロードで きます。

*1.所定のバージョン未満のソフトウェアをお使いの場合は、弊社ホームページ (<u>https://japan.mimaki.com/download/</u> <u>software.html</u>) よりバージョンアップ版インストーラーをダウンロードしてインストールしてください。

本書の例では、以下のように 2 台の PC(CuttingLink - Server PC、RasterLink PC) を用意し、ソフトウェア / ドライバーをインストールしてください。

ソフトウェアノ	セットアッ	プする PC
ドライバー	CuttingLink - Server PC	RasterLink PC
FineCut(/Coat)	インストールする	_
RasterLink	_	インストールする
CuttingLink	インストールする	_
Mimaki ドライバー	インストールする	インストールする

1. CuttingLink - Server PC をセットアップする

- CuttingLink Server PC とカッティングプロッタを USB または Ethernet で接続する。
 - CG-FXII Plus は Ethernet で接続できません。
- 2. ソフトウェア / ドライバをインストールする。
 - (1) FineCut をインストールする。
 - (2) Mimaki ドライバをインストールする。
 - (3) CuttingLink をインストールする。
- 3. CuttingLink でカッティングプロッタを登録する。
 - スタートメニューから CuttingLink を起動するか、またはデ スクトップに作成されるCuttingLinkのアイコンをダブルク リックして CuttingLink を起動する。
 - CuttingLink で[初期設定]画面が表示されます。
 - (2) [初期設定] 画面で [CuttingLink Server] を選択して [OK] をクリックする。
 - •[データ管理画面]が表示されます。
 - (3) [ツール]メニューの[カットデバイス管理]を選択する。
 - (4) [接続可能デバイス]でカッティングプロッタを選択する。



初期設定
起動モード
CuttingLink - Server
○ CuttingLink - Client



6	カットデバイス管理	- 🗆 🗙
No. 名称 モデル名	出力ボート デバイス名 I	Pアドレス
首川民会		
11.16.04		
接続可能デバイス		
モデル名 出力ポー	ト デバイス名	IPアドレス
CF22 Etherner	: CF22 00000000	10.10.100.10
IPアドレスで接続		
		更新
名称:		
追加		閉じる

(5) [名称]を入力し、[追加]をクリックする。	カットデバイス管理 - ロ ×
 一覧にカッティングプロッタが追加されます。 	No. 名称 モデル名 出力ポート デパイス名 IPアドレス 再歩 構成可能デバス モデル名 出力ポート デパイス名 IPアドレス CF22 Ethernet CF22 00000000 10.10.100.10
	IP7ドレスで接続 更新 名称: CF22 追加 開じる
(6) [閉じる]をクリックする。	カットデバイス管理 - ロ ×
	No. 名称 モデル名 出力ボート デバイス名 IPアドレス 1 CF22 CF22 Ethernet CF22 00000000 10.10.100.10 高少能 環境 様株可能デバイス モデル名 出力ボート デパイス名 IPアドレス OF22 Ethernet OF22 00000000 10.10.100.10
	IPアドレスで接続 更新 名称:
	1 L
	t .



2. RasterLink PC をセットアップする

- 1. ソフトウェア / ドライバをインストールする。
 - (1) RasterLink をインストールする。
 - (2) Mimaki ドライバをインストールする。
- 2. RasterLink PC と使用するプリンタを USB または Ethernet で接続する。
- 3. RasterLink でプリンタを登録する。
 ・詳しくは RasterLink インストールガイド 「プリンターの登録手順」 を参照してください。
- 4. RasterLink で CuttingLink を登録する。
 - 必ず、CuttlingLink Server PC で CuttingLink が起動されている状態で行ってください。
 - (1) RasterLink を起動する。
 - RasterLink で[環境設定]メニューの[オプション]を選択 する。
 - 6 ファイル 機能 ツール 環境設定 自動実行 作業ディスク (C:\MijSuite ブリンタ管理 ブリンタ お知らせ通知設定.. 作業フォルダ設定 オプション ディスク プリンタ管理 通信 表示 測色器 デ ジョブ制御 自動実行 ヽイパー・ジョ ○ OFF ● レベル1 ○ レベル2 ジョブ・スレッディング ✓ インク消費量を算出する 印刷後にジョブをロックする。 OK キャンセル
 - (3) [オプション]画面の[通信]タブをクリックする。

(4) [ID カットの設定: 接続先]の[設定]をクリックする。
• [接続先設定] 画面が表示されます。



- (5) [接続先設定]画面で CuttingLink がインストールされている PC を選択して、[OK] をクリックする。
 - PC が表示されていない場合は [更新] をクリックしてく ださい。
 - •[接続先設定]画面が閉じます。
 - [オプション] 画面で[接続先] に "PC 名 (IP アドレス)" が表示されます。



- (6) [オプション] 画面で [OK] をクリックする。
 - CuttingLink と接続されます。



3. カッティングプロッタで ID カットの準備をする

カッティングプロッタ操作パネルで ID カットに必要な設定を行います。 詳しくは**カッティングプロッタの取扱説明書**を参照してください。

■ CFL-605RT、CF22-1225 をお使いの場合

- 1. 電源オン後のモードを"リモート"にする。
 - トンボ検出後、ただちに ID カットを開始するための設定を行います。
 - (1) ローカルモードで [FUNCTION] キーを押す。
 - (2) [^][v] キーを押して [セッテイ] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (3) [^][/] キーを押して [キドウモード] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (4) [リモート]を選択して[ENTER] キーを押す。
 - (5) [END] キーを押す。
- 2. トンボ検出を "1 点 " にする。
 - 手順1に続けて行ってください。
 - (1) [^][v] キーを押して [トンボケンシュツ]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (2) [^][v] キーを押して [ケンシュツ]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (3) [1 テン]を選択して [ENTER] キーを押す。
 - (4) [END] キーを押す。
- 3. ID データを読み込めるようにする。
 - 手順2に続けて行ってください。
 - (1) [∧][∨] キーを押して [データ ID コード] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (2) [オン]を選択して [ENTER] キーを押す。
 - (3) [END] キーを押して終了する。

■ CG-FXII Plus、CG-AR シリーズをお使いの場合

- 1. [USB ソウチ No.] を設定する。(CG-FXII Plus のみ)
 - マシンが複数台ある場合は、[USB ソウチ No.] にユニークな番号を設定してください。複数のマシンで [USB ソウチ No.] に同じ番号が設定されていると ID カットを行うことができません。
 - (1) ローカルモードで [FUNCTION] キーを押す。
 - (2) [^][v] キーを押して [セッテイ] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (3) [^][/] キーを押して [USB ソウチ No.] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (4) [ソウチ No.] に 00 ~ 99 の数値を設定して [ENTER] キーを押す。
- 2. 電源オン後のモードを"リモート"にする。
 - 手順1に続けて行ってください。
 - •トンボ検出後、ただちに ID カットを開始するための設定を行います。
 - (1) [^][v] キーを押して [キドウモード] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (2) [リモート]を選択して [ENTER] キーを押す。
- 3. トンボ検出を "1 点 " にする。
 - 手順2に続けて行ってください。
 - (1) [^][/] キーを押して [トンボケンシュツ]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (2) [1 テン]を選択して [ENTER] キーを押す。
- 4. ID データを読み込めるようにする。
 - 手順3に続けて行ってください。
 - (1) [データ ID コード] が表示されるまで [ENTER] キーを押す。
 - (2) [データ ID コード] で [ON] を選択して [ENTER] キーを押す。
 - (3) [END] キーを押して終了する。

- ■CFX シリーズをお使いの場合
 - 1. トンボ検出の後のモードを"リモート"にする。
 - (1) ローカルモードで [MENU] を押す。
 - (2) [^][/]キーを押して[マシン設定]>[トンボ検出設定]>[検出後モード]を選択し、[ENTER]キーを押す。
 - (3) [リモート]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (4) [END/POWER] キーを数回押してローカルモード画面に戻す。
 - 2. ID データを読み込めるようにする (「連続モード / トグルモード」を使用しない場 合)。
 - 手順1に続けて行ってください。
 - (1) ローカルモードで [MENU] を押す。
 - (2) [^][/] キーを押して [マシン設定] >[トンボ検出設定]>[データ ID コード]を選択し、[ENTER] キー を押す。
 - (3) [ON] を選択して [ENTER] キーを押す。
 - (4) [END/POWER] キーを数回押してローカルモード画面に戻す。

[連続モード/トグルモード]を使用する場合

甞 • CFX の取扱説明書「連続カット機能」を参照し、[ID 連携]の設定を行ってくださ い。

印刷、IDカットする



- 1. イラストとカット線を含むデータを読み込む、または作成する。
- マニュアル CD が添付されており、サンプルデータが入っている場合

以下の手順でサンプルデータを読み込んで使用してください。

- (1) カッティングプロッタに添付されているマニュアル CD を PC にセットする。
- (2) 以下のフォルダをクリックする。
 Windows の場合: "CD ドライブ:\JP\Japanese\ID Cut_Sample data"
 Macintosh の場合: "CD ドライブ:\Mac_Japanese\ID Cut_Sample data"
 - "ID Cut_Sample data" フォルダが表示されます。
- (3) "sample_mimaki.ai" をダブルクリックする。
 - Adobe Illustrator が起動し、サンプルデータが読み込まれます。
 - 読み込まれない場合は、Adobe Illustratorの[ファイル]メニューで[開く…]をクリックして、 サンプルファイルを選択して読み込んでください。
- ■マニュアルCDが添付されていない、または添付されているマニュアルCDにサンプルデータが入っていない場合

以下の手順でサンプルデータを作成して使用してください。

- (1) Adobe Illustrator でイラストとカット線を作成する。
- (2) Adobe Illustrator で、イラストデータを印刷用レイヤー(プリント属性:オン)に、カット線データ をカット用レイヤー(プリント属性:オフ)に配置する。



2. トンボを作成する。

- (1) Adobe Illustrator で長方形ツールを使って、カット線を囲う ように長方形を作成する。
- (2) 長方形を選択した状態で、FineCut メニューの [トンボ作成] アイコンをクリックする。
 - •[トンボ作成]画面が表示されます。
- (3) 本書の例では、[トンボ作成]画面で以下の作成条件を設定する。
 - トンボ形状: (セイホウケイ)または (タイプ 1)
 - トンボサイズ :10 mm







トンボ作成
トンボサイズ (5-30mm) 10 mm 💌 む 🔳
推奨トンボサイズ: 5 mm 🔳 🔳
□ 印刷方向マークを付加する
□ トンボの周りを塗りつぶす
±427511 OK

- (4) [OK] をクリックする。
 - トンボが [FC トンボレイヤー] に作成されます。
- カット開始位置を変更する。(任意)
 (1) カットレイヤー以外のレイヤーを非表示にする。
 - (2) [カット開始位置指定]アイコンをクリックする。
 - カット開始位置変更モードになります。



- (3) カット開始位置に指定したい場所をクリックする。
 - カット開始位置が変更されます。



- 4. カット方向を変更する。(任意)
 - (1) カットレイヤー以外のレイヤーを非表示にする。
 - (2) [カット方向指定]アイコンをクリックする。
 - カット方向指定モードになります。

(3) カット線上をクリックします。カット方向が変更されます。





- 5. 全てのレイヤーを表示する。
- FineCut メニューの [プロット] アイコンをクリッ クする。
 - •[プロット]画面が表示されます。

7. トンボのカット方法を設定する。

- FineCut でトンボを作成している場合 (1) プロットダイアログ右上にある[コピー間隔]を設定する。
 - (2) [トンボ]タブの[トンボ認識]をクリックする。
 ・トンボ認識されます。
 - (3) トンボのカット方法を設定する。 本書の例では以下のように設定してください。
 - マルチモード / シングルモード : マルチモード
 - 連続回数: ↔ 5 回、‡ 2 回
 - 検出ヶ所:4点
- 8. [レイヤー]タブの印刷用レイヤーのチェックをオ フにする。
 - 印刷用レイヤーのチェックをオンにしていると、印刷用レイ ヤーにあるデータをカットしてしまいます。ご注意ください。
- 9. ID データを送信する。
 - (1) [プロット...]ボタンをクリックする。
 [プロッタ出力]画面が表示されます。
 - (2) [ホットフォルダ選択 ...]をクリックする。
 - RasterLink で作成された使用するプリンタ名のホット フォルダを選択してください。
 - ホットフォルダを未作成の場合、RasterLinkで作成して ください。

 (重要!)
 ・ホットフォルダの選択ダイアログにある[新しいフォルダー]ボタンからフォルダを 作成しても、ホットフォルダとして機能し ません。ホットフォルダは必ず RasterLink で作成してください。

- (3) [EPS]または[PDF]を選択して[IDカット…]をクリックする。
 - データが RasterLink のホットフォルダに送信されます。
 - [EPS] を選択した場合、オプション画面で各項目を設定 して [OK] をクリックしてください。
 - [PDF] を選択した場合、オプション画面で設定を変更せずに [OK] をクリックしてください。

ראר	↔	1	↑ 1
コピー間隔	↔	10 mm 🚔	\$ 10 mm
□枠	↔	10 mm 💂	\$ 10 mm
レイアウト、タイリング	<u>トンボ \</u>		
トンボ認識			







力条件			-den aut
プロッタの設定値			JUAL
◎ 条件名を指定	1-パネル設定	∨ 編集	キャンセル
🔿 ክスቃム		1 V	
	▼ スピード	0.2 🔹 cm/s	プルビュー
	▼ 圧力	100 🌩 g	77/10/04
	✓ オフセット	0.3 🔹 mm	7/1/P (44/)
11100			IDthub
	@ CDC	© 00C	10/1911
ホットフォルダ道沢、	• EPS	PDF	10/191
ホットフォルダ道択。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF		O PDF	10/1911
ホットフォルダ道択。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF		O PDF	10,091
ホットフォルダ道択。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF プション		♥ PDF	10/01/
ホットフォルダ道祝。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF だaシ マリート		 PDF * 約を製品にする 	10/991
ホットフォルダ道択. C:¥MijSuite¥Hot¥JF だっコン マリンート @ すべて		 PDF マ Nを製品にする 	100991
ホットフォルダ道択. C:¥MijSuite¥Hot¥JF だ3コン ▼ ソート ◎ すべて ○ レイヤー別		 PDF マ 制を製品にする 	100991
ホットフォルタ違択。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF がっン ジリート ④ すべて ○ レイヤー別 ▼ わり検了後のかりご選		PDF マ	100991
ホットフォルジ選択. C:¥MijSuite¥Hot¥JF だ33ン マソート ● すべて ● レイヤー別 マリット読得後のハッド選 詳細		● PDF ✓	10091
ホットフォルジ選択. C:¥MijSuite¥Hot¥JF ジョン マリート ● ブイて ● レイヤー別 マカト核了後のハッド選 詳細 カルト製絵が面の開発		PDF マ がを翻品にする	100091

		プロッタ出力	
出力条件 ③ プロッタの設定値			九yh
◎ 条件名を指定	1-パネル設定	∨ 編集	キャンセル
🔿 ክスቃム	ツール ゴ スピード	1 v 02 🗘 cm/s	7UE2
	▼ 圧力	100 ÷ 9	ファイルへ出力
IDカット			104-1
ホットフォルダ道択。	@ EPS	O PDF	IDJJør
ホットフォルダ道択。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF	@ EPS	O PDF	IDNAL
ホットフォルダ道択。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF げション		O PDF	10/1917
ホットフォルダ道祝。 C:¥MijSuite¥Hot¥JF プション プソート ● すべて ● レイヤー別		O PDF マ 制な製品にする	10//97
ホットフォルダ選択。 C:WijSuiteWHotWJF ビンート ● オペて ● レイヤー別 ビカト終了後のいり、遊 詳細		● PDF V Nを翻品にする	10//97
ホットフォルダ選択。 C:WijSuiteWHotWJF ぜジョン ビソート ◎ すべて ◎ レイヤー別 ビカト終了後の小り*達 単細… 〕カット制始位面の最近		PDF V N2翻品にする	10,991

- 1. プリンタにメディア(ワーク、シート)をセットする。
 - CFL-605RT、CF22-1225、CFX シリーズをお使いの場合

トンボと画像の配置可能範囲は以下の通りです。トンボ4点全てがメディアの端から10mm以上空くように印刷してください。10mm以上空いていない場合、カッティングプロッタでカットする際に、カットパネルとメディアの境界線をトンボと間違えてトンボ検出処理を始めてしまうことがあります。

例 トンボ形状:[セイホウケイ]の場合



■ CG-FXII Plus、CG-AR シリーズをお使いの場合

トンボがピンチローラーにかからないようにしてください。

・メディア余白が以下の数値になるようにメディアをセットしてください。
 トンボ形状が [タイプ 2]の場合は、後端について、以下の数値に「トンボの長さ /2」を足してください。



ローカルモードで [REMOTE] キーを押す。
 リモート状態になります。

- 1. RasterLink を起動する。
 - FineCut で保存したデータが自動で読み込まれます。
- 2. [プリンタ名]タブの[ジョブー覧]に読み込まれたファイルを選択する。
 - •[ジョブー覧]で ID カットを行うファイルを選択します。

έ.			RasterLink6	Plus				
ファイル 根能 ツール 環境設定								
作業ディスク (C:WijSuiteUobs\RL01:)	32%	313.41	GB 使用可能 物理:	メモリ (15.9 GB) 📕			35% 10.3 GB 使用可能	? Mimai
7023	ジョブ一覧「お知に入り設定」					クラロバティ		
1192 LIT-17 ///		ジョブ名	サムネイル	周性				
		MPC PR 01.	7	nat f		ファイル情報		
1072 100K					•	ジョブ名	MPC_PR_01_20171006161226995.mmkpps 支更	
3 (II)- 100 N		MPC_PR_01		カラー		ファイル名	mimaki_sample.ai	
A7599						形式	EPS	
ジョブキュー 0 準備中				- 1		画像サイズ	1.38 MB	
サムネイル ジョブ名 状態 道行状況						~-:793	1	
						ページサイズ	178.65 x 116.53 mm	
						スプール時のお気に入り	J JFX200	
						ジョブ精性	フルカラー印刷 ・ 設定	6
						使用特色名	なし	
						カラー調整セット	@34	
						印刷条件		
						***	1898/PE I (White on Color) v3.5	Y 🚍
						NR	1200x1200 VD	
						人力ラロファイル(ICC)	WideMimakiCMYK.Icm	
						プロファイル名	JFX2004C+SPLUS350_Transparent_PET_WhiteonColor_F112	.911.icc
						重ね至り回転	1	
						7.2	32	
						(B)(BCLUM)	10	!
IP2200 IP20						III ELANY / 101	F710	

- 3. 画面右の [機能アイコン] 一覧で 🇾 (実行)を選択する。
- 4. [RIP & 印刷]または [RIP 後印刷]を選択する。

6		RasterLink6	Plus		- • ×
ファイル 根能 ツール 環境設定					
作業ディスク(C:WijSuiteUobs\RL01:)	33%	309.71 GB 使用可能 物理	×€リ (15.9 GB)	41%	🔄 9.5 GB 使用可能 🥐 MIMCIKI
プリンタ	ジョブー覧 お死に入り設定	1		莉 行	
UB UE UE<		2256 74.47.6 WPC.PR.01.	Rt 1 72 · L 1 75 - L 1	第15法 (10) (-> 2) () (○ 11 0 40(年)) (○ 11 0 40(年)) (○ 11 0 40(年)) (○ 10) (○ 11 0 40(年)) (○ 10) (○ 11 0 40(年)) (○ 10) (○ 11 0 40(年)) (○ 11 0 40(#)) (○ 11 0 40(#))) (○ 11 0 40(#))) (○ 11 0 40(#))) (○ 11 0 40(#))) (○ 11 0 40(#)))	
[16:34:25] - ホットフォルダを開始しました。[JFX200]					*
					Ç

- 5. [開始]をクリックする。
 - ID 付きデータが印刷されます。



7. カッティングプロッタで ID カットする

- 1. カッティングプロッタに印刷済のメディア(ワーク、シート)をセットする。
 - 0°、90°、180°、270°のどの向きにメディアをセットしても ID カットできます。
 ただし、異なる種類のトンボを自動で連続カットしたい場合は 0° または 180°の向きで
 メディアをセットしてください。
 - メディアが傾いているとトンボが検出できないことがあります。
- 2. トンボを検出する。
- CFL-605RT、CF22-1225 をお使いの場合
 - (1) ローカルで [END] キーを押す。
 - トンボ検出モードになります。
 - (2) ジョグキーを押して、メディア左下のトンボの中央近くにライトポインターを移動する。
 - (3) [ENTER] キーを押す。
 - トンボ検出が開始されます。



- CG-FXII Plus、CG-AR シリーズをお使いの場合
 - (1) ローカルで [END] キーを押す。
 - トンボ検出モードになります。
 - (2) ジョグキーを押して、メディア右下のトンボの中央近くにライトポインターを移動する。
 - (3) [ENTER] キーを押す。
 - トンボ検出が開始されます。



■ CFX シリーズをお使いの場合

- (1) ローカルモード画面でジョグキーを押し、トンボ原点検出を実行する。
 - トンボ検出モードになります。
- (2) ジョグキーを押して、メディア右下のトンボの中央近くにライトポインターを移動する。
- (3) [ENTER] キーを押す。

• トンボ検出が開始されます。



3. 自動でカットされます。

トラブルシューテイング







CuttingLink - Server を変更した

再度、RasterLink で CuttingLink の登録を行ってください。 (22 P.9 「RasterLink で CuttingLink を登録する。」)

CuttingLink - Server のデータをバックアップしたい

以下のフォルダをバックアップしてください。 C:\MimakiTools\CuttingLink\DT

CuttingLink - Server を移行したい

- 1. 移行前の CuttingLink Server PC で初期設定をリセットする
 - CuttingLink Server のデータをバックアップする。
 (※PP.25 「CuttingLink Server のデータをバックアップしたい」参照)
 - [ツール]メニュー [初期設定リセット]を選択して [OK] ボタンをクリックする。



3. CuttingLink を終了する。

2. 移行先の CuttingLink - Server PC で Server の設定を行う

- CuttingLink をインストールし、起動する。
 インストール後 PC を再起動すると、 CuttingLink が自動で起動されるようになります。
- 2. [初期設定]画面で[CuttingLink Server]を選択して[OK]をクリックする。

初期設定
起動モード
OuttingLink - Server
○ CuttingLink - Client

- 3. CuttingLink を終了する。
- 4. 移行前の PC でバックアップしておいたデータを以下のフォルダにコピーする。
 •C:\MimakiTools\CuttingLink\DT
- 5. CuttingLink を起動する。
- カッティングプロッタを登録する。
 (☞ P.7 「CuttingLink でカッティングプロッタを登録する。」(3)~(6)参照)

3. RasterLink で CuttingLink - Server PC を再登録する

☞ P.9 「2. RasterLink PC をセットアップする」

CuttingLink - Client はどんな場合に使うの?



例 1) プリンタとカッティングプロッタを別々の PC に接続している場合

カッティングプロッタ

プリンタ

CuttingLink - Client の設定方法

- プリンタを接続している PC に CuttingLink をインストールし、CuttingLink Server に設定する。(愛 P.7 「CuttingLink をインストールする。」~)
- カッティングプロッタを接続している PC に CuttingLink をインストールし、 CuttingLink - Client に設定する。
 - (1) カッティングプロッタが接続されている PC に CuttingLink をインストールし、起動する。
 - (2) [初期設定]画面で [CuttingLink Client] を選択し、[OK] を クリックする。

Ь	初期設定	×
一起動	モード	_
00	uttingLink – Server	
0	OuttingLink - Client	
<u></u> 今1	後この画面を表示しない OK	

- (3) [接続先指定]の一覧で、接続する CuttingLink Server を 選択し[OK]をクリックする。
 - 必ず、CuttingLink Server PC で CuttingLink が起動され ている状態で行ってください。
 - [接続先指定]画面が表示されない場合は、[ツール]メ ニューの[接続先指定]を選択してください。
 - PC 名が表示されていない場合は [更新] をクリックして ください。

Ь	を 接続先指定 ×					
PC名	I	Ρアドレス				
CL-PC-	Server 1	1.11.111.11				
		更新				
ОК		キャンセル				

裏面カットしたい (CF22-1225 のみ)

CF22-1225 をお使いの場合に使用できる機能です。

裏面カットについては、以下のマニュアルを参照してください。

- FineCut リファレンスガイド 第3章 「カットする」- 「カッティングプロッタ名」- 「裏面カット」
 カッティングプロッタ取扱説明書 第4章 「トンボ読み取り機能」 「カットと印刷を連携する」 「裏面カット」
 - 1. FineCut のプロット画面で[裏面カットモード]に チェックを付ける。
 - 4 点検出を選択する。
 •2 点検出を選択すると裏面カットすることができません。

レイアウト タイリング トンボ	
トンボ認識解除	トンボサイズ: 10 mm ・ ご 距離補正あり
道 連続回数	1 🛋
■裏面カットモード	検出500

- 3. FineCut で ID カット出力する。(22 P.17 「ID データを送信する。」)
- 4. RasterLink でデータを出力する。(2 P.19 「6. 印刷データを出力する」)
- カッティングプロッタに印刷面を上にしてメディア(ワーク)をセットする。
 •0°、90°、180°、270°のどの向きにメディアをセットしてもIDカットできます。
- 6. トンボを検出すると自動で表面トンボカットされる。
- 7. メディアを裏返す。



・必ずパネル位置から見て上下(手前から奥)に裏返してください。

- 8. マークチップを埋め込む。
- 9. トンボ検出すると自動で裏面カットが開始される。

RasterLink でデータをコピーして ID カットしたい

- 1. Adobe Illustrator でプリント&カットデータを作成する。
 - ・イラストデータを印刷用レイヤー(プリント属性:オン)に、カット線データをカット用レイヤー(プリント属性:オフ)に配置してください(22° P. 14)
 ・データサイズは燃焼 20 mm いとにしてください)
 - データサイズは縦横 70mm 以上にしてください。
- 2. FineCut で「トンボ作成、トンボ認識」しないで ID カット出力する。
 - FineCut で「トンボ作成、トンボ認識」して ID カット出力すると、 RasterLink で「データのコピー、 印刷条件の設定、 面付け」 を行うことができません。ご注意ください。
 - FineCut で ID カット出力するとデータは RasterLink に自動送 信されます。(22°P. 17)

出力条件			Theb
◎ プロッタの設定値			7091
◎ 条件名を指定	1-パネル設定	∨ 編集	キャンセル
💿 ክスቃム	ダール	1 V	
	▼ スピード	0.2 🔹 cm/s	ブルビュー
	✔ 圧力	100 후 g	ファイルへ出力
IDDWh	✓ オフセット	0.3 🕴 mm	
ホットフォルダ道道	e EPS	O PDF	IDカット
C:¥MijSuite¥Hot¥	JFX200	~	
C:¥MijSuite¥Hot¥	JFX200	~	
C:¥MijSuite¥Hot¥	JFX200	~	
C:¥MijSuite¥Hot¥ ブション マリート のまたて	JFX200	×	
C:¥MijSuite¥Hot¥ ビジョン ✓ ソート ◎ すべて ◎ レイヤー別	JFX200 □9H	 Nを製品にする 	
C:¥MijSuite¥Hot¥ ブション マリート ④ すべて ① レイヤー別	JFX200 □ 9H	 Nを製品にする 	
C:WhijSuiteWhotW プション マリート ● すべて ● レイヤー別 マカル技了後のvs*3 ====================================	JFX200 □外1 高遊	 約 約 約 約 5 6 7 6 7	
 C:WMijSuiteWHotW ブソート すべて レイヤー別 が1終了後のヘット* 	JFX200 二外4 意題	 NE製品にする 	

- 3. RasterLink を起動する。
- 4. RasterLink で読み込まれたデータを選択して、画面右の機能アイコン一覧で「通常 印刷」アイコンションをクリックする。

ē		RasterLink6	Plus				- 🗆 🗙
ファイル 襟能 ツール 環境設定							
作業ディスク (C:MijSuite\Jobs\RL01:)	30%	325.21 GB 使用可能	物理メモリ (1	5.9 GB)	35%	10.4 GB 使用可能 🖊	Λιπακι `
5028	「ジョブー覧」お知に入り読む	2			👤 プロパティ		
17.88	- 動付け 合成	ジョブ名	ナムネイル	图性			
		MPC_PR_0	7 📩	カット	ファイル情報		
ジョブキュー 0 実行中					ジョブ名	MPC_PR_01_201711141439582(支更	
11 / 1 / 1 / 21 - 1 / 1 / 1 / 1 / 2 / 1 / 1 / 2 / 1 / 2 / 2		 MPC_PR_0 	-	カラー	ファイル名	sample_mimaki.eps	
	<u> </u>				形式	EPS	
n T					画像サイズ	1.89 MB	
					ページ数	1	
					ページサイズ	137.52 x 93.31 mm	T 👝 🛛
					スプール時のお気に入り	JFX200	
					ジョブ寄性	カットのみ 💌 1882	
					使用特色名	なし	
					画件編集		- 6
					カラー調整セット	標準	
E [60期条件		
	-				メディア	3A FOREX-Print v3.2	71 🔟 7
JFX200 2							

- 5. 印刷条件の設定を行う。
 - (1) "スケール"を設定する。(任意)
 - FineCut から送信した ID 付きデータについては、スケールの設定はできません。
 - (2) "回転"、"ミラー"を設定する。(任意)
 - (3) "移動"の"幅"、"送り"を設定する。(任意)
 - 10mm 以上の余白をとってメディア(ワーク、シート)をセットしている場合は設定不要です。 そうでない場合は、"幅"、"送り"に"10mm"以上の数値を入力してください。
 - (4)"コピー"数を入力する。
 - (5) "配置"の"余白"または"ピッチ"を設定する。
 - トンボを付加すると"余白"は自動で以下の数値が設定されます。
 トンボ形状が"タイプ1[]"または"セイホウケイ[]"の場合:トンボサイズトンボ形状が"タイプ2[]。の場合:0mm
- 6. トンボと ID データを付加する。
 - (1) トンボ形状を選択する。
 - "タイプ1 [;]"または"タイプ2 []"または"セイホウケイ []"("セイホウケイ []")" 推奨)
 - (2) トンボサイズを入力する。
 - (3) [ID カット] にチェックを入れる。
 - データにトンボと ID データが付加される。
 - FineCut から送信した ID 付きデータについては、[ID カット] チェックボックスに既にチェック が入っています。チェックを外すことはできません。

- (4) トンボの[配置]を選択する。
 - 個別: データ1つごとにトンボと ID データが付加されます。
 - 全体: コピーした全てのデータを囲うようにトンボと ID データが付加されます。



(5) 手順(4)で"全体"を選択した場合に"オフセット"を設定する。



- 7. RasterLink でデータを出力する。(愛 P.19 「6. 印刷データを出力する」)
 ID 付きデータが印刷されます。
- 8. カッティングプロッタに印刷済のメディアをセットする。(@P.20「カッティング プロッタに印刷済のメディア(ワーク、シート)をセットする。」)
- 9. トンボ検出すると自動で ID カットが開始される。(四P.20 「トンボを検出する。」)

RasterLink で面付けして ID カットしたい

面付けについての詳細な内容は、RasterLink リファレンスガイド「複数の画像を1つにまとめる - 面付け」を参照してください。

RasterLink で面付けする場合は、FineCut でトンボ作成 / トンボ認識しないで ID カット出力してください。

- RasterLink でプリント & カットデータを読み込む。 (☞ P.29 「」)
- 2. 画面右の機能アイコン一覧で「面付け」アイコン をクリックする。



3. 面付けしたいデータを選択して、整列方法、余白、中央合せの有無を設定し、[面付け]をクリックする。



- 4. 画面右の機能アイコン一覧で「通常印刷」アイコン かのですると、面付けされてプレビューされる。
- 5. 印刷条件の設定を行う。

ジョブー覧、またはプレビュー画面で、条件を設定するデータを選択してから設定を行ってください。 (1) "スケール"を設定する。(任意)

- FineCut から送信した ID 付きデータについてはスケールの設定はできません。
- (2) "回転"、"ミラー"を設定する。(任意)
- (3) "移動"の"幅"、"送り"を設定する。(任意)
 - 10mm 以上の余白をとってメディア(ワーク、シート)をセットしている場合は設定不要です。 そうでない場合は、"幅"、"送り"に"10mm"以上の数値を入力してください。
- (4) "コピー"数を入力する。
- (5) "配置"の"余白"または"ピッチ"を設定する。
 - トンボを付加すると"余白"は自動で以下の数値が設定されます。
 トンボ形状が"タイプ1[]"または"セイホウケイ[]"の場合:トンボサイズ
 トンボ形状が"タイプ2[]の場合:0mm

- 6. トンボと ID データを付加する。
 - (1) トンボ形状を選択する。
 - "タイプ1…"または"タイプ2…"または"セイホウケイ…"(CF22-1225、 CFL-605RT の場合は"セイホウケイ…"推奨)
 - (2) トンボサイズを入力する。
 - (3) [ID カット] にチェックを入れる。
 - データにトンボと ID データが付加されます。
 - FineCut から ID カット出力したデータについては、[ID カット] チェックボックスに既にチェッ クが入っています。チェックを外すことはできません。
 - (4) 面付けの場合、トンボの[配置]は"全体"が選択される。
 - 全体: コピーした全てのデータを囲うようにトンボと ID データが付加されます。
 - (5) "オフセット"を設定する。(②P.30「手順(4)で"全体"を選択した場合に"オフセット"を設定する。」)



- 7. RasterLink でデータを出力する。(愛 P.19 「6. 印刷データを出力する」)
 ID 付きデータが印刷されます。
- 8. カッティングプロッタに印刷済のメディアをセットする。(@P.20「カッティング プロッタに印刷済のメディア(ワーク、シート)をセットする。」)
- 9. トンボ検出すると自動で ID カットが開始される。(四P.20 「トンボを検出する。」)

複数の種類のデータを ID カットしたい (CF22-1225)

CF22-1225 をお使いの場合に使用できる機能です。

CFL-605RT をお使いの場合は、自動で複数の種類の ID データを連続カットすることはできません。CFL-605RT で、複数の種類のデータをカットしたい場合は、トンボの種類が変わる度に手動でトンボ検出してください。

- 1. RasterLink で複数の種類のデータを印刷する。
 - 複数のトンボデータを印刷して連続して ID カットを行う場合、トンボの形状とサイズ、回転角度を全て同じにしてください。サイズまたは形状が異なるトンボがある場合は ID カットが中止されます。



- 2. カッティングプロッタにメディアをセットする。
 - 印刷したメディアをセットする向きは 0° または 180° にしてください。0° または 180° 以外の向きにセットするとオートカット(複数の種類のトンボデータを自動で連続カットする機能)することができません。
- 3. カッティングプロッタで原点を設定する。
 - (1) ローカルモードで [FUNCTION] キーを押す。
 - (2) [^][/]を押して[セッテイ]を選択し、[ENTER]キーを押す。
 - (3) [^][/]を押して[サクズセッテイ]を選択し、[ENTER]キーを押す。
 - (4) [^][v]を押して[ゲンテン]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (5) [^][/]を押して[ヒダリシタ]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (6) [END] キーを押す。
- カッティングプロッタでカットエリアを設定する。
 トンボを含む全てのデータが含まれるようにカットエリアの右上の点を設定してください。



- (1) ローカルモードで [^][/][<][>] を押してジョグモードに入る。
- (2) [AREA] キーを押す。
- (3) [^][/][/][/]を押して、カットエリアの右上の点を設定し、[ENTER] キーを押す。
 - しばらくするとローカルモードに戻ります。

- 5. カッティングプロッタで「トンボタンサク」機能を"オン"にする。
 - (1) ローカルで [FUNCTION] キーを押す。
 - (2) [^][v] キーを押して [セッテイ] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (3) [^][/] キーを押して [トンボケンシュツ] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (4) [^][>]キーを押して以下の項目を選択し設定する。

	1	
項目	値	設定値
トンボタンサク	オン / オフ	"オン"にする。 • "オン"にすると、カット終了後に自動で次のトン ボデータを探します。"スキャンハバ"と"タンサ クハンイ"の設定が必要となります。
スキャンハバ	10 \sim 99 cm	原点シール延長線上にある点 (下図 - 点 A)からの トンボを探索する幅を指定します。 • トンボタンサク:オンの場合に有効です。
タンサクハンイ	10 \sim 99 cm	ID カット終了位置 (下図 - 点 A)から次のトンボを 探すまでの距離を指定します。 • トンボタンサク:オンの場合に有効です。

• トンボタンサク時のスキャンハバ、タンサクハンイについては以下の図をご覧ください。



- 6. メディア(ワーク)をセットする。
- 7. トンボ検出すると自動で ID カットが開始される。
 - ID カット後、自動で次のトンボ検出が行われます。
- 8. データが終わるまで [自動トンボ検出→ ID カット] が繰り返される。

複数の種類のデータを ID カットしたい (CG-FXII Plus、CG-AR シリーズ)

- 1. RasterLink で複数の種類のデータを印刷する。
 - 複数のトンボデータを印刷して連続して ID カットを行う場合、トンボの形状とサイズ、回転角度を全て同じにしてください。サイズまたは形状が異なるトンボがある場合は ID カットが中止されます。



2. 原点を設定する。

- (1) ローカルモードで [FUNCTION] キーを押す。
- (2) [セッテイ]-[ゲンテンキリカエ]で"ミギシタ"を選択し、[ENTER]キーを押す。
- (3) [END] キーを押す。
- 3. カッティングプロッタで「トンボタンサク」機能を "ON" にする。
 - (1) ローカルモードで [FUNCTION] キーを押す。
 - (2) [セッテイ]-[トンボタンサク]を選択し、[ENTER]キーを押す。
 - (3) [トンボタンサク]で "ON" を選択する。[スキャンハバ]、[タンサクハンイ]を設定する。

項目	値	設定値
トンボタンサク	ON/OFF	 "ON"にする。 "ON"にすると、カット終了後に自動で次のトンボデータを探します。"スキャンハバ"と"タンサクハンイ"の設定が必要となります。
スキャンハバ	3 cm ~装置幅	右側ピンチローラーの左端 (ノーマルモード:下図 - 点 A) または右端 (エキスパンドモード) からのトンボを探索する幅を指定します。 ・トンボタンサク: ON の場合に有効です。
タンサクハンイ	$5{\sim}50~{ m cm}$	ID カット終了位置 (下図 - 点 A) から次のトンボを探すまでの 距離を指定します。 • トンボタンサク : ON の場合に有効です。

• トンボタンサク時のスキャンハバ、タンサクハンイについては次の図をご覧ください。





- 5. トンボ検出すると自動で ID カットが開始される。
 - ID カット後、自動で次のトンボ検出が行われます。
- 6. データが終わるまで [自動トンボ検出→ ID カット] が繰り返される。

複数の種類のデータを ID カットしたい (CFX シリーズ)

CFX シリーズをお使いの場合に使用できる機能です。

- 1. RasterLink で複数の種類のデータを印刷する。
 - 複数のトンボデータを印刷して連続して ID カットを行う場合、トンボの形状とサイズ、回転角度を全て同じにしてください。サイズまたは形状が異なるトンボがある場合は ID カットが中止されます。



- 2. カッティングプロッタにメディアをセットする。
 - 印刷したメディアをセットする向きは 0° または 180° にしてください。0° または 180° 以外の向きにセットするとオートカット(複数の種類のトンボデータを自動で連続カットする機能)することができません。
- 3. カッティングプロッタでカットエリアを設定する。 トンボを含む全てのデータが含まれるようにカットエリアの右上の点を設定してください。



- (1) ローカルモードで [^][/][<][>] を押してジョグモードに入る。
- (2) [^][/]を押して、[カットエリア設定]を選択する。
- (3) [^][~][<]]>]を押して、カットエリアの右上の点を設定し、[ENTER] キーを押す。
 - しばらくするとローカルモードに戻ります。

- 4. カッティングプロッタで「トンボ探索」機能を"オン"にする。
 - (1) ローカルで [MENU] キーを押す。
 - (2) [^][/] キーを押して [設定] を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (3) [^][/] キーを押して [マシン設定]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (4) [^][/] キーを押して [トンボ検出設定]を選択し、[ENTER] キーを押す。
 - (5) [^][v] キーを押して [トンボ探索]を選択し、以下の項目を選択し設定する。

項目	値	設定値
トンボ探索	オン/オフ	"オン"にする。 • "オン"にすると、カット終了後に自動で次のトン ボデータを探します。スキャン幅の設定に移行し ます。
スキャン幅	10 \sim 99 cm	カット終了したデータの後端、 トンボの右側の位 置にある点 (下図 - 点 A)からのトンボを探索する 幅を指定します。 • トンボ探索:オンの場合に有効です。

• トンボタンサク時のスキャンハバについては以下の図をご覧ください。



- 5. メディア(ワーク)をセットする。
- 6. トンボ検出すると自動で ID カットが開始される。
 ID カット後、自動で次のトンボ検出が行われます。
- 7. データが終わるまで[自動トンボ検出→ ID カット]が繰り返される。

クリア/プライマーデータと合成する場合に印刷位置がずれる

カラー用データを FineCut で ID カット出力し、クリア / プライマーデータを Adobe Illustrator で EPS 出力また はドライバ出力します。これらのデータを、RasterLink で読み込むと、カラー用データとクリア / プライマー データの位置がずれます。

以下の手順で ID カットを行ってください。クリア版を合成する例で説明します。プライマーの場合は、「クリア」を「プライマー」に置換えてお読みください。

- 1. Adobe Illustrator でカラーデータとクリアデータ、カットデータを作成する。
- 2. Adobe Illustrator で「フレームレイヤー」にフレーム(四角い枠)を作成する。
 - (1) カラーデータとクリアデータ、カットデータ、これら全てのデータを囲むようにフレームを作成する。
 - (2) フレームを線なし、塗りなしにする。



- 3. FineCut でカラーデータとカットデータを ID カット出力する。(@ P.17 「ID データ を送信する。」)
 - (1) 各レイヤーの属性を以下の表のように設定する。

レイヤー名	表示 💿 / 非表示	プリント属性	田刀
カット	表示	OFF	カット
フレーム	表示	ON	印刷
クリア版	非表示	ON	-
カラー版	表示	ON	印刷

Θ	> 🖾 * カット
•	> _ フレーム
	> 🦰 クリア版
•	🔹 🚈 カラー版

- (2) FineCut メニューの [プロット] アイコンをクリックする。
- (3) ID データを送信する。(公P.17「ID データを送信する。」)
 使用するプリンタの RasterLink ホットフォルダにデー
 - タが送信されます。
- 4. クリアデータを RasterLink へ出力する。
 - (1) FineCut メニューの[プロッタ/ユーザ設定]アイコンをク リックする。
 - FineCutVer8.7.3 以前のバージョンをお使いの場合に本手 順が必要となります。FineCutVer8.7.3 より後のバージョ ンをお使いの場合は、本手順を行わずに手順(3)に進ん でください。

M	mc	IKI	Fi	ne (Cut	8	i
7	V	Ь	Þ	5	_م ړ	ן ר ר	臣
Ð	⊿	民	먉	٩.	RL	\mathbf{y}	Ø

- (2) プロッタ機種で CJV30、TPC、CJV300/150、CJV300Plus、 UCJV300/150 シリーズのいずれかを選択して[設定]をク リックする。
 - [RasterLink へ出力 ...] 機能を使用するために、一時的に 変更します。
 - FineCutVer8.7.3 以前のバージョンをお使いの場合に本手 順が必要となります。FineCutVer8.7.3 より後のバージョ ンをお使いの場合は、本手順を行わずに手順(3) に進ん でください。
- プロック/ユーゲー設定
 こ

 プロック/ユーゲー設定

 プロック/ユーゲー設定

 プロック/ユーゲー設定

 ブロック/ユーゲー設定

 エマノド: (PAG-HARDER)

 エクリア・日本

 エカ泉中設定

0

©

>

>

3

* カット フレーム

クリア版

カラー版

(3) 各レイヤーの属性を以下の表のように設定する。

レイヤー名	表示 💿 / 非表示	出力	
カット	非表示	OFF	-
フレーム	表示	ON	印刷
クリア版	表示	ON	印刷
カラー版	非表示	ON	-

- (4) FineCutメニューの[RasterLinkへ出力...]アイコンをクリッ クする。
- (5) 手順3で ID データを送信した RasterLink ホットフォルダ と同じホットフォルダを選択する。
- (6) [出力]をクリックする。
 - 使用するプリンタの RasterLink ホットフォルダにデータ
 C:¥MijSuite¥Hot¥JFX200
 が送信されます。
- 5. RasterLink でクリアデータを単色置換する。
 - (1) RasterLink で読み込まれた手順4のジョブを選択する。
 - (2) "ジョブ属性"で[単色印刷]を選択する。

6		RasterLin	nk6Plus				- • ×
ファイル 横能 ツール 環境設定							
作業ディスク (C:WijSuiteUobs\RL01:)	30%	325.91 GB 使用	可能 物理メモリ(15.9 GB)	35%	10.4 GB 使用可能	? Mimaki
รีบวล	「ジョブー覧」お知っ	入り設定			👤 プロパティ		
状態	面付け 合成	ジョブ名	サムネイル	属性	ページサイズ	158.21 x 97.83 mm	
		MPC_PR_0	V	カット	スプール時のお気に入り		
ジョブキュー 0 実行中	4	MPC_PR_0		, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ジョブ衛性	フルカラー印刷	
サムネ ジョブ名 状態 進行状況 🌙					使用特色名	フルカラー印刷 単色印刷	
		sample_mi		カラー	カラー調整セット		
	-			y.	cnRie /a		
JFX200 3					フルカラ	一印刷	
(4-26-06) (#3) #1996(1 ±1 ± 1 MPC PD 02 20	171120142650174 mmkr	Incl					
14.30.00] - 1202/21896 0 at 0/28 [mm0_110_02_22	71120143558174.1.1.1.1	191			フルカラ	一印刷	
					対会に見		
					単巴口加		

(3) [ジョブ属性] 画面 - "置換後の色"で[クリア]を選択して[OK]をクリックする。

5	ジョブ属性	×
」単色印刷 UVモード		
置換元の色	置換後6	の色
○ シアン ○ マゼンタ ● イエロー ○ ブラック	→	 シアン マゼンタ イエロー ブラック グリア フライマー ホワイト ホワイト
		OK キャンセル

	キャンセル	出力
ホットフォルダ選択		

~

Mimaki Fime Cut 8

- 6. RasterLink でジョブを合成する。
 - (1) 合成するジョブをジョブ一覧で選択する。
 - (2) 画面右の機能アイコン一覧で「合成」アイコン 😵 をクリックする。

6		Raste	erLink6Plus					- 0	×
ファイル 概能 ツール 環境設定									
作菓ディスク (C:WijSuite\Jobs\RL01:)	30%	325.66 GB	使用可能 物理;	メモリ (15.9 GB)	379		10.0 GB 使用可能	? M im	ICIKI [®]
プリンタ	「ジョブ一覧」お気に入り数	Ĩ			🦻 ブロバティ				Å
17.82	·				スプール時のお気に入	JFX200		^	
	MP	C_PR_01_2017		カット	ジョブ属性	カットのみ	T	設定	
ジョブキュー 0 実行中	MP	C PR 01 2017	And I	h⇒	使用特色名	なし			
サム ジョ 状態 道行					カラー調整セット	標準			
A	sa	mple_mimaki_Cl		クリア版(マ…	印刷条件				
					メディア	3A FOREX-Print v3	2	(
					解像度	300x450HQ VD			
The second secon					入力プロファイル(ICC	WideMimakiCMYK	.icm		*
	•(/ · / ►	ブロファイル名	JFX2004C+SPLUS	3120_FOREX-P_F11	2212.icc	
JFX200 3									
[15:58:19] - ホットフォルダを開始しました。	[JFX200]								Ê.

- (3) カットの出力順を一番最後にして、[合成]をクリックする。
 - カットの出力順を最後(一番大きい数字)にしないと ID カット出力ができません。

8			RasterLink	5Plus				-	×
ファイル 桜蛇 ツール 環境設定									
作業ディスク (C:WijSuite\Jobs\RL01:)	30%	327.17 GB 使用	可能 物理メモリ	/ (15.9 GB)	29%		11.3 GB 使用可能 ?	Min	naki
รีบวง	ジョブ一覧			全成					
状態	🐥 面付け 🛛 合成	ジョブ名	サムネイル	サムネイル	屠性	25-	出力顺		
ジョブキュー 0 実行中		MPC_PR_01_201 MPC_PR_01_201		V	カット	OFF	[2]	jo	
サムネ ジョブ名 状態 進行状況	_	sample_mimaki			クリア版(マット調)	OFF	[1]		
		— sample_mimaki			カラー	OFF	[1]	,	
				合成オブション □ ミラー					
				合成条件 速度像	洗●品質合月	乾」解除			÷ ⊕
							4		
					Same Contraction				
						ATLA	NTIC		×
	•		7.		V				Ý
JFX200 5									

- 7. トンボと ID データを付加する。(CPP.32 「トンボと ID データを付加する。」)
- カッティングプロッタに印刷済のメディア(ワーク、シート)をセットする。 (☞ P.20「カッティングプロッタに印刷済のメディア(ワーク、シート)をセット する。」)
- 10. トンボ検出すると自動で ID カットが開始される。(22 P.20 「トンボを検出する。」)

PDF 形式で ID カット出力すると、プリントデータが RasterLink に正しく送信されない

PDF形式でIDカット出力したプリントデータが、RasterLinkで欠けたり、真っ白になったりすることがあります。

- 1. Illustrator アートボード内に、トンボを含めた全てのデータが収まっているかを確認 する。
 - •問題が解消されない場合は次の手順に進んでください。
- 2. ID カット出力するときに表示される PDF オプション画面で「Illustrator の編集機能 を保持」のチェックを外す。
 - •「次に開いたときに一部の編集機能が使用できなくなる可能性があります。」 メッセージが表示されることがあります。 問題ありませんので [OK] をクリックして保存してください。

	Adobe PDF を保存
Adobe PDF プリセー 準拠するが	ット (A): [Illustrator 初期設定](変更) ・ よ 現格 (N): なし ・ 互換性のある形式 (<u>C</u>): Acrobat 6 (PDF 1.5) ・
一般	一般
 圧縮 トンボと裁ち落とし 出力 エジロコの定 	説明(D): [元とするセット:Illustrator 初期設定] Illustrator ファイルを Adobe PDF ドキュメントとし ▲ て保存する場合の初期設定です。保存後に Illustrator で編集する場合、InDesign などのレイ アウトアプリケーションで使用する場合、またはファイルの用途が不明な場合には、この設定 を選択してください。
計相設定	オプション
ビキュリティ 設定内容(警告)	□ Illustrator の編集機能を保持 (I)
	☑ サムネールを埋め込み(E)
	□ Web 表示用に最適化 (<u>0</u>)
	□ 保存後 PDF ファイルを表示 (<u>V</u>)
	■ 上位レベルのレイヤーから Acrobat レイヤーを作成 (L)
	PDF を保存(<u>S</u>) リセット

MEMO:

